

主要事務事業戦略シート

令和3年度
選挙管理委員会事務局
事務局長 石野隆史

局・区の使命	公正な選挙が行われるために、必要な政治意識の醸成を図る。
事業選択・重点化・見直しの考え方	選挙権年齢が引き下げとなり、小さいころからの政治意識の醸成、いわゆる主権者教育の重要性が近年増している。

No.	新規	施策 NO.	施策	事務事業 （業務）名	事務事業（業務）概要		事務事業（業務）に必要な行政資源							課題抽出		今後の方向性						所管課			
					目標（目的）	主な内容	ヒト			モノ		カネ		行政コスト の合計額	＜参考＞ 前年度決算額	主な実績・効果	分析・評価	改善・ 改革の 手法	今後の方向性	改善・ 改革の 手法	今後の方向性		改善・ 改革の 手法	今後の方向性	
					【（事務事業（業務）を行 い）誰（何）が、どのよう な状態になることを目 指すのか】	【サービス等の提供内 容や提供先】	正 規 職 員	任 会 用 計 職 年 員 度	コスト換算 （単位：百 万円）	土地、建物、 車両、システ ム等の固定 資産	コスト換 算 （単位：百 万円）	対象年度の予算額	コスト換 算 （単位：百 万円）	（単位：百 万円）											
1		3-1-3	こどもの 参画の 推進	小学校模擬選挙	若者の政治への関心の 低さや選挙離れが全国的 に叫ばれている中、子ども の時から、実際の選挙と 同様の体験をすることに より、選挙や政治に関心 を高めることを目的として 実施する。	【内容】 設定した1つのテーマによ り、架空の都市「〇〇市」 の市長選挙を実際の投票 器材を使用した体験授業 として行う。 【提供先】 市内の小学5～6年生 【実施方法】 千葉県弁護士会法教育 委員会と共催	0.2	0.0	2	投票箱 投票記載台 （現在保有する モノを使用）	0	投票用紙作成費及び弁護 士会負担金	1	3	1	H30年度実績 小学校19校（弁護士会と共催16校 ＋市内大学等と連携3校） 2,332人 （応募校 39校） R元年度実績 小学校21校（弁護士会と共催16校、 市内大学等と連携3校、市単独実施2 校） 2,816人 （応募校 34校） R2年度実績 小学校16校（弁護士会と共催12校、 市内大学と連携等4校） 1,085人 ※21校実施予定であったが、緊急事 態宣言により5校中止 （応募校21校） 共催している千葉県弁護士会が立候 補者役として参加しているが、この形 態の模擬選挙は全国的にも珍しいも のとなっている。	実施後にアンケート調査を実施してい るが、概ね良い経験となったとの感想 があるなど好評であり、実施希望校も 増加基調にあり、実施校拡大が必要 な状況にある。 【参考】 R3年度予定 小学校21校（うち弁護士会と共催16 校、市内大学と連携等5校） （応募校52校） 一方、共催している千葉県弁護士会 法教育委員会所属の弁護士に限りが あり、現在の実施数がほぼ上限で あり、これ以上増やすことが難しい。	⑤ 連 携 ・ 協 働	小学校の実施希望に対し、実 施可能数がほぼ上限に達し ている状況にある。実施校拡 大に向け、市内大学など、実 施可能な他団体との連携を 引き続き検討する						選挙管理委員会事 務局